

漢字の成り立ち・部首

名前
とく点
/100

1 次の漢字を、①～④の各組に分けて書きなさい。(各5点)

- | | | |
|---------------------------|------------|------------|
| 「多 鳴 目 晴 本 日 門 一 花 森 末 問」 | ① 象形文字 () | ② 指事文字 () |
| | ③ 会意文字 () | ④ 形声文字 () |

2 次の漢字を二つずつ組み合わせ、会意文字を二つ、形声文字を二つ作りなさい。(各4点)

- | |
|----------------------|
| 「自 氏 反 日 月 心 糸 木」 |
| 会意文字 () () () () |
| 形声文字 () () () () |

3 次の漢字の部首名を書きなさい。(各5点)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| (1) 店 () | (2) 腸 () | (3) 思 () |
| (4) 交 () | (5) 冷 () | (6) 特 () |
| (7) 情 () | (8) 建 () | () () |

4 次の部首と、左の漢字を組み合わせ、漢字を作りなさい。(各4点)

〔例〕 「くさかんむり」

〔化〕 「花」

(1) 「しめすへん」

(2) 「てへん」

〔旨〕

(3) 「はつがしら」

〔豆〕

5 次の二つの漢字の部分に共通する部首を書きなさい。(各4点)

〔例〕 「金 長」

「弓」

(1) 「大 玉」

(2) 「舌 己」

(3) 「車 首」

(4) 「竟 失」

6 次の条件にあてはまる漢字を書きなさい。(4点)

- (1) 部首が「さんずい」で、音読みが「リュウ」。()

漢字の画数・筆順

名前
得点
/100

1 次の漢字の総画数を書きなさい。(各4点)

- (1) 子 () 画 (2) 写 () 画 (3) 考 () 画
 (4) 級 () 画 (5) 比 () 画 (6) 水 () 画

2 次の漢字の部首の画数を書きなさい。(各4点)

- (1) 約 () 画 (2) 郡 () 画 (3) 遊 () 画
 (4) 関 () 画 (5) 答 () 画 (6) 類 () 画

3 次の条件にあてはまる漢字を、あとから一つずつ選びなさい。(各4点)

- (1) 総画数が15画の漢字。 ()
 (2) 総画数が8画の漢字。 ()
 (3) 部首の画数が4画で、総画数が11画の漢字。 ()
 (4) 部首以外の画数が9画の漢字。 ()

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | 精 | イ | 弟 | ウ | 複 | エ | 点 | オ | 億 |
| カ | 述 | キ | 教 | ク | 特 | ケ | 社 | コ | 倍 |

4 次の漢字の↓がさしている部分は、何画めに書くのが正しいですか。(各4点)

(1) 衆 () 画め (2) 飛 () 画め

(3) 逆 () 画め (4) 必 () 画め

5 次の漢字の正しい筆順は、どれですか。(各5点)

(1) 半 (イ ア) (2) 臣 (イ ア)

(3) 馬 (ウ イ ア) (4) 何 (ウ イ ア)

辞典の使い方

名前

とく点

1 次のことばは、国語辞典ではどの順番でならべられていますか。先に出てくる順に番号をつけなさい。(各5点)

(1) すばらしい ()
 スタート ()
 すばこ ()
 すばやい ()
 スパイク ()

(2) 作品 ()
 作文 ()
 作家 ()
 作戦 ()
 作図 ()

2 次の漢字は、どの部首の何画のところに出ていますか。それぞれ表に書き入れなさい。(各5点)

画	部首	
6	竹	〔例〕答
		(1) 悲
		(2) 園
		(3) 好
		(4) 記

3 次の場合、ア国語辞典、イ漢和辞典のうち、どちらで調べた方がよいですか。アイで答えなさい。(各5点)

- (1) 「冷」の「冷たい」以外の読みを知りたいとき。 ()
- (2) 「すいへいせん」の意味を知りたいとき。 ()
- (3) 「作」がつく熟語を知りたいとき。 ()

4 次の——線部の部分を、国語辞典にのっている言い切りの形に直して書きなさい。(各5点)

- (1) 公園がとりこわされていた。 ()
- (2) その作品は魅力にとほしかった。 ()
- (3) 君の兄さんにたのめばいいのに。 ()

5 次の——線部の漢字の読みを、漢和辞典を使って調べ、書きなさい。(各5点)

- (1) 湖に臨んだホテルに泊まる。 () んだ ()
- (2) 老若男女がつどう祭り。 ()
- (3) 借金を相殺する。 ()
- (4) それは机上の理論にすぎない。 ()

6 国語辞典の「ふる」のところを見ると、次のような意味が書かれていました。あとの(1)～(4)の「ふる」は、それぞれア～カのどの意味で使われていますか。(各5点)

ア 失う **イ** 手にした物をまきちらす **ウ** 物をゆり動かす
エ 向きをうつし変える **オ** 割り当てる **カ** わきにそえる

- (1) 針路を北西にふる。 () (2) ふりがなをふる。 ()
- (3) 大臣の地位をふる。 () (4) こま塩をふる。 ()

漢字の読み方・送りがな

名前
とく点
/100

1 次の熟語の読み方は、あとのア～エのどれにあたりますか。(各3点)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| (1) 番組 () | (2) 合図 () | (3) 親友 () | (4) 雨具 () |
| (5) 切手 () | (6) 連続 () | (7) 雪国 () | (8) 台所 () |
- ア 上も下も音読み イ 重箱読み(上が音、下が訓)
 ウ 上も下も訓読み エ 湯桶読み(上が訓、下が音)

2 次の各組の中から、――線部の漢字の読みが他とはことなるものを、一つずつ選びなさい。(各3点)

- | |
|----------------------------------------------------|
| (1) [ア] 発見 イ 発作 ウ 発進 エ 発表 オ 発達 |
| (2) [ア] 公平 イ 平和 ウ 平等 エ 不平 オ 平行 |

3 次の漢字の読みを書きなさい。(各4点)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| (1) 下手 () | (2) 七夕 () | (3) 果物 () |
| (4) 河原 () | (5) 今朝 () | (6) 景色 () |

4 次の各組のうち、送りがなが正しいものはどれですか。(各3点)

- | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| (1) <u>イ</u> ア 温い 温かい | (2) <u>イ</u> ア 明かい 明るい | (3) <u>イ</u> ア 伝えい 伝たえる |
|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|

- | | |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| (4) <u>ウ</u> イ ア 勢い 勢おい 勢い | (5) <u>ウ</u> イ ア 群い 群おい 群る |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------|

5 次の各文の――線部の部分を、漢字と送りがなで書きなさい。(各4点)

- | |
|--------------------------------------|
| (1) 時間をむだに <u>ついやす</u> ことはやめなさい。 () |
| (2) <u>ここ</u> をよく受け取ります。 () |
| (3) つくえの上を <u>きちん</u> とととのえる。 () |
| (4) 田をし <u>っかり</u> とたがやす。 () |

6 次の各文の () の中に適当な送りがなを書き入れなさい。(各3点)

- | |
|----------------|
| (1) 家族を養 ()。 |
| (2) 心を改 ()。 |
| (3) 農業を営 ()。 |
| (4) 空に月が現 ()。 |
| (5) 険 () 道。 |

同音・同訓異字と同音異義語

名前
とく点
/100

1 次の各組の——線部のひらがなを、漢字に直して書きなさい。(各2点)

- (1) ウ イ ア
 深さをはかる。()
 解決をはかる。()
 時間をはかる。()
- (2) ウ イ ア
 夜があける。()
 ドアをあける。()
 席をあける。()

- (3) ウ イ ア
あつい夏。()
あつい本。()
あつい湯。()
- (4) ウ イ ア
えいせい検査。()
 人工えいせい。()
えいせい中立国。()

2 次の読みをもつ漢字を書き入れ、熟語をそれぞれ作りなさい。(各2点)

- (1) ガ イ ア
ウ () 発 () ()
 () 家 () 状 ()
- (2) ト ク
ウ イ ア
ウ 道 () () 点 別 ()

3 次の各文にはまちがって使われている漢字が一つずつあります。それらをぬき出し、正しい漢字を書きなさい。(各4点) (完答)

- (1) 山田夫妻とは気が会う。()
 実験は大成功を治めた。()
 登り列車が五分おくれで着いた。()
 生徒会会長を努めることになった。()
 彼は本当に議理がたい人だ。()

4 次の各組の漢字の中から正しいものを選びなさい。(各4点)

- (1) 毎月の (ア 保健) (イ 保険) 料をはらう。
 (2) (ア 改心) (イ 会心) の作品ができあがった。
 (3) 彼はよく (ア 習慣) (イ 週刊) (ウ 週間) 誌を読む。
 (4) 弟はおじの (ア 感心) (イ 寒心) (ウ 歓心) (エ 関心) をかおうと、おどけてみせた。
 (5) 出動の (ア 態勢) (イ 大勢) (ウ 体制) (エ 体勢) をととのえる。

5 次の各組の——線部のカタカナを、漢字に直して書きなさい。(各2点)

- (1) ウ イ ア
コウカな品物を買う。()
練習のコウカが上がる。()
コウカを歌う。()
- (2) ウ イ ア
 小学生がタイショウの映画。()
タイショウ的な性格の兄弟。()
 左右タイショウの図形。()

- (3) ウ イ ア
 進化のカテイを知る。()
 幸せなカテイをきづく。()
 彼を犯人とカテイする。()
- (4) ウ イ ア
キカイのぐあいをみる。()
キカイ体そうを習う。()
 友人に会えるよいキカイだ。()

熟語の組み立て／三字熟語・四字熟語

名前
とく点
/100

- 1 次の熟語は、あとの①～⑨のどれにあたりますか。(各3点)
- ア 人造 () イ 無理 () ウ 通学 () エ 野性 ()
 オ 豊富 () カ 苦楽 () キ 国境 () ク 入試 ()
- ① 同じ漢字を重ねたもの ② 意味の似た漢字を重ねたもの
 ③ 意味が反対や対になる漢字を重ねたもの ④ 上の字が下の字を修飾する形になっているもの
 ⑤ 下の字が「ーに」「ーを」の意味になっているもの
 ⑥ 上の漢字が主語、下の漢字が述語の関係にあるもの
 ⑦ 上に「不・無・非・未」がつき、下の語の意味を打ち消すもの
 ⑧ 下に「然・性・的・化」がついて、意味を深めたり、そえたりするもの
 ⑨ 長い語を略したもの

- 2 次の () の中に「不・無・非・未・然・性・的・化」のいずれか一字を入れて熟語を作りなさい。(各2点)

- (5) () 来 (2) 整 () (3) 私 () (4) () 正
 () 言 (6) () 番 (7) 適 () (8) 進 ()

- 3 次の () に反対の意味の漢字を入れて、熟語を作りなさい。(各3点)

- (1) () 私 (2) 加 () (3) 自 ()
 (4) 明 () (5) () 近 (6) () 弱

- 4 次の () の中に、漢字一字を入れて三字熟語を作りなさい。(各3点)

- (1) 上 () 下 (2) 参 () 書 (3) 失 () 談 (4) 積 () 的

- 5 次の熟語の組み立て方を、例にならって示しなさい。(各3点)

- (例) 新学期 (新+学期)
 (1) 感謝状 () (2) 春夏秋冬 ()
 (3) 前代未聞 () (4) 南太平洋 ()

- 6 あとの熟語をすべて使って四字熟語を六つ作りなさい。(各3点)

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| () | () | () | () | () | () |
| 完全 | 一部 | 自在 | 整理 | 自治 | 自由 |
| 世界 | 無欠 | 交通 | 地方 | 平和 | 始終 |

類義語・対義語

名前
とく点
/100

1 次の熟語の類義語を、それぞれ下から選びなさい。(各2点)

- (1) 進歩 (ア) 進出 イ 散歩 ウ 進行 エ 向上 ()
 (2) 休養 (ア) 栄養 イ 休日 ウ 休業 エ 静養 ()
 (3) 方法 (ア) 方向 イ 手段 ウ 原因 エ 法則 ()
 (4) 決心 (ア) 決勝 イ 決定 ウ 決意 エ 結果 ()

2 次の熟語の対義語を、漢字で書きなさい。(各4点)

- (1) 人工 () (2) 洋式 () (3) 登校 ()
 (4) 戦争 () (5) 集合 () ()

3 次の熟語の類義語を、あとから選びなさい。(各3点)

- (1) 案内 () (2) 準備 () (3) 結末 ()
 (5) 故人 () (6) 同意 () (7) 体験 () (8) 音信 ()
 ア 用意 イ 結果 ウ 返事 エ 消息 オ 賛成
 カ 短所 キ 意外 ク 経験 コ 死者 サ 同点

4 次の各組の中から、類義語を一組ずつ選びなさい。(各3点)

- (1) (ア) 立身 イ 立場 ウ 出口 エ 出世 ()
 (2) (ア) 書面 イ 手紙 ウ 書体 エ 切手 ()
 (3) (ア) 事前 イ 未来 ウ 以前 エ 未然 ()
 (4) (ア) 景気 イ 風光 ウ 景観 エ 観光 ()

5 次の各組の中から、他とは明らかに意味のことなる熟語を、一つずつ選びなさい。(各3点)

- (1) (ア) 成長 イ 生徒 ウ 発育 エ 生長 ()
 (2) (ア) 気心 イ 気質 ウ 気運 エ 気性 ()
 (3) (ア) 見物 イ 見学 ウ 參觀 エ 参戦 ()
 (4) (ア) 衣料 イ 衣食 ウ 衣類 エ 衣服 ()

6 次の熟語の対義語を、あとから選びなさい。(各3点)

- (1) 現実 () (2) 未開 () (3) 個人 () (4) 原則 ()
 (5) 利益 () (6) 円満 () (7) 形式 () (8) 静止 ()
 ア 例外 イ 損失 ウ 理想 エ 不和 オ 運動 カ 分散
 キ 精神 ク 未来 ケ 社会 コ 内容 サ 文明 シ 出発

ことわざ・慣用句

名前
とく点
/100

1 次のことわざの□にあてはまる動物の名前を書きなさい。(各5点)

- (1) □もあるけば棒に当たる ()
 月と□ ()
 (2) □に小判 ()
 (3) □百までおどりを忘れず ()
 (4) □ ()

2 次の()に漢数字を入れて、ことわざを完成させなさい。(各5点)

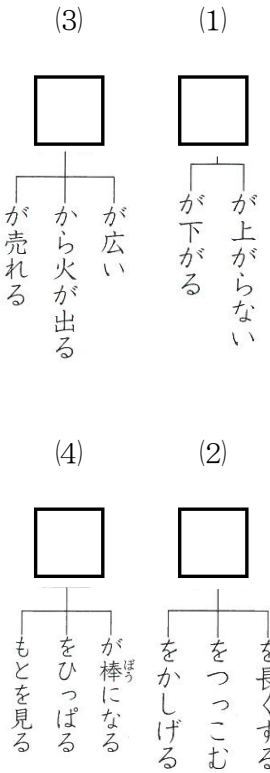
- (1) 人のうわさも () 日
 (2) () を聞いて () を知る
 (3) 早起きは () 文の得
 (4) () 兎を追う者は () 兎をも得ず

3 次のことわざ・慣用句の意味を、あとから一つずつ選びなさい。(各5点)

- (1) さばを読む () (2) ぬれ手であわ ()
 (3) 板につく () (4) ねこのひたい ()
 (5) かつぱの川流れ () (6) 花よりだんご ()
 (7) うどの大木 () (8) 転ばぬ先のつえ ()

- ア よくなれてびったりあっているようす。
 イ たいへんせまいこと。
 ウ ものの数をごまかす。
 エ たいした苦勞もしないでもうけること。
 オ 名人でも時には失敗する場合があるということ。
 カ 前もって用心すること。
 キ 大きいばかりで役に立たないこと。
 ク 見ばえがいいものより実用に役立つもののほうがいいこと。

4 次の各組の慣用句の□の中に、共通する体の一部を表すことば(漢字一字)を書き入れなさい。(各5点)



文・文節・単語

名前
とく点
/100

1 次の各文の単語の正しい分け方を、あとから選びなさい。(各5点)

(1) 春の日ざしは優しい。

ア 春の／日ざしは／優しい。

イ 春／の／日／ざし／は優／しい。

ウ 春／の／日ざし／は／優しい。

(2) 向こうに見える美しい山が富士山だ。

ア 向こうに／見える／美しい／山／が／富士山／だ。

イ 向こう／に／見える／美しい／山／が／富士山／だ。

ウ 向こう／に／見／える／美しい／山／が／富士山／だ。

(3) たまごからかわいいヒナが生まれました。

ア たまごから／かわいい／ヒナが／生まれました。

イ たまご／から／かわいい／ヒナ／が／生まれ／ました。

ウ たまご／から／かわいい／ヒナ／が／生まれ／まし／た。

2 次の各文の文節の正しい分け方を、あとから選びなさい。(各5点)

(1) 暗がりの中から光がぶきみにうかんでくる。

ア 暗がりの中から／光がぶきみに／うかんでくる。

イ 暗がり／の／中から／光が／ぶきみに／うかんでくる。

ウ 暗がり／の／中から／光が／ぶきみに／うかんで／くる。

(2) 雲は人の顔のように見えた。

ア 雲は／人の顔の／ように／見えた。

イ 雲は／人の／顔のように／見えた。

ウ 雲は／人の／顔の／ように／見えた。

(3) 悲しいはずなのに不思議と涙は全く出て来なかった。

ア 悲しい／はずなのに／不思議と／涙は／全く／出て／来なかった。

イ 悲しい／はず／なのに／不思議と／涙は／全く／出て／来な／かった。

ウ 悲しいはず／なのに／不思議と／涙は／全く／出て来なかった。

3 次の文を、例にならって文節に区切りなさい。(各6点)

〔例〕ぼくは、一けさ、一七時に一起きました。(1) 丘の上に、サルビアの花がさいている。

(2) 門の前で犬がほえています。(3) 父さんに、マンガ本を買ってもらった。

(4) 妹を連れて、商店へ買い物に行く。(5) 日がかげると、風が出てきて、雨がふり出した。

4 次の文を、例にならって単語に区切りなさい。(各8点)

〔例〕ぼく一は、一明日、一七時に一起きる。(1) きみは外国へ行ったことがあるか。

(2) 明日の朝は早く起きて遠足に出かける。(3) 母が作る料理はみんなおいしい。

(4) こっちの部屋のほうがしずかだ。(5) さわやかな風が、秋が近いことを告げている。

主語・述語・装飾語

名前
とく点
/100

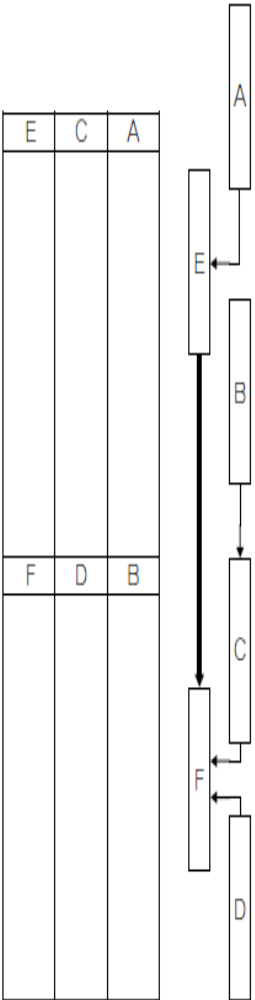
- 1 次の各文の主語・述語を、記号で答えなさい。(各5点)
- | | | |
|------------------------------|--------|-----|
| (1) ア赤くイそまつたウ空はエたいへんオきれいだ。 | 主語 () | () |
| (2) アいろいろなイ食べ物ウたくさんエある。 | 主語 () | () |
| (3) ア友だちからイ借りたウ本はエとてもオおもしろい。 | 主語 () | () |
| (4) ア静岡にはイ富士山とウいうエ高いオ山がカある。 | 主語 () | () |

- 2 次の――線のことが修飾していることばを、選びなさい。(各5点)
- | |
|----------------------------------------------------------------------------|
| (1) 白鳥の <u>ア真つ白な</u> イすがたが <u>ウ美しく</u> エうつつています。 |
| (2) <u>アきみは</u> <u>いつ</u> イいなかに <u>ウ行く</u> のですか。 |
| (3) <u>ア今年</u> の <u>イ夏</u> は <u>いつも</u> の <u>ウ年</u> より <u>エかなり</u> オ暑い。 |
| (4) <u>アかれが</u> <u>持っている</u> イ大きな <u>ウかばん</u> は <u>エぼく</u> の <u>オもの</u> だ。 |

- 3 次の――線のことばに係る修飾語を、すべて選びなさい。(各5点)
- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) <u>アこれは</u> イ弟が <u>ウかいた</u> <u>絵</u> です。 |
| (2) <u>ア子ども</u> たちは <u>イいつ</u> せいに <u>ウプール</u> に <u>飛び</u> こんだ。 |
| (3) <u>アぼく</u> は <u>イ先生</u> の <u>ウ話</u> を <u>エむちゆう</u> で <u>聞</u> いた。 |
| (4) <u>ア山</u> の <u>イかげ</u> に <u>ウ顔</u> を <u>エ出</u> した <u>オ月</u> が <u>カ</u> とても <u>美</u> しい。 |

- 4 次の各文の型は、あとのア～ウのどれにあたりますか。(各5点)
- | | |
|-------------------------|-----|
| (1) あれが富士山だ。 | () |
| (2) 妹も負けずにがんばった。 | () |
| (3) 東の空に太陽が出た。 | () |
| (4) 国語辞典は意味や漢字を調べるものです。 | () |
| (5) 彼のお父さんは偉大です。 | () |
- ア 何が (は) ↓ どうする。
 イ 何が (は) ↓ どんなんだ。
 ウ 何が (は) ↓ 何だ。

- 5 次の文は、それぞれのどのような組み立てになっていますか。あとの図の□にあてはまることばを、書きなさい。ただし太い↓は主語・述語の関係、細い↓は修飾・被修飾の関係を表すものとします。(15点)
- 一人の少年がけわしい山道を頂上へと登った。



単語の種類／名詞・代名詞

名前
とく点
/100

1 次の各組の中から、他とは品詞がことなるものを選びなさい。(各4点)

- (1) 「ア する」 イ ちがう ウ いく エ もう」
 (2) 「ア 安全だ」 イ 学校だ ウ 便利だ エ 元気だ」
 (3) 「ア 青さ」 イ 白い」 ウ 黒い」 エ 遠い」
 (4) 「ア まあ」 イ でも」 ウ ねえ」 エ あら」

2 次の()にあてはまる代名詞を、あとから選びなさい。(各4点)

- (1) () ()の柄がお好きですか。
 (2) () ()に来てもう二か月になります。
 (3) 人は、() ()でも楽しく生きたいと思う。
 (4) このイスを() ()に運んでおいて下さい。

- ア これ イ だれ ウ あちら エ どちら
 オ あれ カ そこ キ ここ

3 次の名詞は、あとのア～エのどれにあたりますか。(各4点)

- (1) 時間 () (2) 太平洋 () (3) 父親 () (4) 彼 ()
 (5) 四時 () (6) きみ () (7) 九州 () (8) いくつ ()

- ア 普通名詞 イ 固有名詞 ウ 数詞 エ 代名詞

4 次の各組の中から、他とは種類のことなる名詞を、一つずつ選びなさい。(各4点)

- (1) 「ア 日本」 イ 京都 ウ 野口英世 エ 山地」
 (2) 「ア ねこ」 イ たい」 ウ ぼく エ さかな」
 (3) 「ア 五度」 イ 三年」 ウ 四回 エ 一団」
 (4) 「ア あれ」 イ あそこ」 ウ かれ エ どちら」

5 次の語を変化させて、あとの文の()にあてはまる名詞を作って書きなさい。(各5点)

- (1) 悲しむ
 ① 町全体が() ()にしずんでいた。
 ② 思い切った手を打てないのが、小国の() ()だ。
 (2) 明るい
 ① 彼の家によく() ()がもどった。
 ② 町長の不正事件が() ()に出た。

副詞／擬声語・擬態語

名前
とく点
/100

1 次の文の()にあてはまる副詞を、あとから選びなさい。(各4点)

- (1) 彼は() ()何を考えているのだろうか。
- (2) どんなことをされても() ()言わない。
- (3) 大きな男は() ()立ち上がった。
- (4) こんな所まで来ると() ()静かだ。
- (5) この子たちも() ()大きく成長するだろう。
- (6) あす() ()来ます。
- (7) てのひらに() ()のせる。

ア いきなり イ よほど ウ いったい エ だんじて
オ そつと カ やがて キ ずいぶん ク また

2 次の——線のことばに注意して、□にあてはまるひらがなを書きなさい。(各4点)

- (1) まるで昼の□□□明るさだ。()
- (2) よもや負けることはある□□。()
- (3) どうか、わたしをおゆるし□□□□。()
- (4) もし時間があつ□□□、手伝ってくれないか。()

3 次の音やようすを表すのにふさわしいことばを、あとから選びなさい。(各3点)

- (1) 風が弱くふく () (2) 雨がはげしく降る ()
 - (3) うれしそうに笑う () (4) たいこを打つ ()
 - (5) 水がこぼれ落ちる () (6) 風が強くふく ()
 - (7) 意味ありげに笑う () (8) くぎを打つ ()
- ア ドンドン イ しとしと ウ にこにこ エ そよそよ
カ トントン キ ヒューヒュー ク にやにや ケ ぽたぽた
コ ザーザー オ ちらちら

4 次の文の□にあてはまる擬態語を、それぞれ書きなさい。(各4点)

- (1) 風車が、風に吹かれて□□□□回っている。()
- (2) 新しい車は、□□□□に光りかがやいている。()

5 次の擬態語と擬声語は、どのような感じがしますか。あとから選びなさい。(各3点)

- (1) ずっしり () (2) のろのろ ()
 - (3) ぬるぬる () (4) キンキン ()
 - (5) ぎっしり () (6) ぐんぐん ()
 - (7) ひらひら () (8) ビュンビュン ()
- ア するどい音の感じ。 イ 重い感じ。 ウ さわがしい感じ。 エ 勢いのある感じ。
オ 軽い感じ。 カ 低い音の感じ。 キ たくさんつまった感じ。 ク すべる感じ。
ケ はやい感じ。 コ おそい感じ。

助詞・助動詞

名前
とく点
/100

1 次の文——線部の助動詞や助詞の表す意味が他とはことなっているものを選びなさい。(各5点)

(1) ア さくらの花がさいた。
イ 父の言ったとおりになった。
ウ ぼくの母は小学校の教師だ。

(2) ア 今すぐ行くから、そこで待っていないなさい。
イ 向こうから先生がやってきました。
ウ 東京から大阪まで、むかしの人は歩いた。

(3) ア 雨が降りそうだ。
イ 今年の夏は、暑くなるそうだ。
ウ となりのおじさんはやさしそうだ。
エ この本は、おもしろそうだ。

(4) ア 服はひとりで着られる。
イ 弟は積木をいくつも重ねられる。
ウ 先生が、わが家に来られる。

2 次の文の——線部の助動詞は、ア受け身、イ可能、ウ使役のうち、どのはたらきをしていますか。記号で答えなさい。(各5点)

- (1) そんなに早く起きられるわけがない。 ()
- (2) おじさんに道をたずねられる。
妹を買いものに行かせる。 ()
- (3) このやり方なら漢字をたくさん覚えられる。 ()
- (4) プラモデルを妹にこわされる。 ()
- (5) () () () ()

3 次の文の——線部の助動詞は、どのような意味を表していますか。あとから選びなさい。(各5点)

- (1) 事件の真相を知っているのは彼女だ。 ()
- (2) ぼくも彼についてもと知りたい。 ()
- (3) 父は何もかも知っているらしい。 ()
- (4) ぼくは全く何も知らない。 ()

ア 希望 イ 推定 ウ 断定 エ 打ち消し

4 次の文の () に入れる助詞として最もふさわしいものを、あとから選びなさい。(各5点)

- (1) 弟はいつも、テレビ () 見ている。 (2) 歩き () 食べるのはみともない。
- (3) 先生 () 失敗はあります。 (4) 来年 () 合格してみせる。
- (5) 東京から大阪 () 、飛行機に乗った。

ア ながら イ でも ウこそ エ ばかり オ まで

5 次の文の——線部の語と同じ使い方しているものを、あとから選びなさい。(各5点)

- (1) 運動場に集まる。 ア 見物に行く。 イ りっぱに育つ。 ウ 静岡に住む。
- (2) 雪が降るらしい。 ア 兄も出場するらしい。 イ 兄は男らしい。 ウ 中学生らしい服装だ。

接続語・指示語

名前
とく点
/100

1 次の文の () にあてはまる指示語を、あとから選びなさい。(各6点)

- (1) ぼくに () を取ってくださいませんか。
- (2) トイレは () にありますか。
- (3) () ぞとばかり、わたしは先生にうったえた。
- (4) ちよつと () に来てくれませんか。
- (5) () 人だろうか。

ア どこ イ それ ウ ここ エ こちら オ どちら カ どんな

2 次の文から接続語を書きぬき、そのはたらきがあとのア～カのどれにあたるか答えなさい。(各6点)

- (1) 食事をした。それから、勉強をした。 ()
- (2) 弟はよく遊ぶ。だけど、勉強がよくできる。 ()
- (3) 彼、つまり、山田君が当選するだろう。 ()
- (4) 日本または中国がアジアをひっぱっていく。 ()
- (5) 先生はやさしい。だから、大好きだ。 ()

ア 順接 イ 逆接 ウ 並列・添加 エ 説明 オ 転換 カ 選択

3 次の文章中の——線①・②・③・④の指示語が指しているものを、それぞれ書きなさい。(各8点)

こん虫やクモなどは、さわられると、死んだまねをします。①それは小鳥やカエルなどは、動いているものをおそうくせがあるので、こん虫やクモが死んだまねをして動かないでいると、②これを食べずに行ってしまうからです。

ヤドカリは、いつもじょうぶなまき貝の家をせおってくらしていますが、敵がくると、さつと、③このからの中に身をかくしてしまいます。また、ミノムシは、がの幼虫ですが、細いえだや葉をかみ切ってミノを作り、④その中にはいってくらしています。このように、ヤドカリやミノムシは、からをかぶって、しっかりと自分の身を守ります。

- ① それ ()
- ② これ ()
- ③ この ()
- ④ その ()

4 次の文を、接続語を入れて二つの文にしなさい。(8点)

東京はとても暑이지만、福岡はまだ暑いらしい。

()

()

敬語

名前

とく点

/100

1 次の各文の——線部のうち、敬語の使い方として不適切なものがあります。その部分を正しく直しなさい。まちがいがなければ○をつけなさい。(各4点)

- (1) 先生が申されたことをノートに書きつける。 ()
- (2) 冷めないうちにいただいてください。 ()
- (3) 先生、父が、あす、おうかがいしたいと申しておりました。 ()
- (4) 先生がいたしたとおりにすればまちがいないと思う。 ()

2 次の各文の——線の部分は、アていねい語、イ尊敬語、ウ謙譲語のどれにあたりますか。記号で答えなさい。(各5点)

- (1) あしたお電話いたします。 () (2) 校長先生が絵をごらんになる。 ()
- (3) わたしがあした、まいります。 () (4) お客様をご案内する。 ()
- (5) これはわたしのかいた絵でごさいます。 () (6) あの山が富士山です。 ()

3 次の各文の——線の部分の意味は、それぞれどのような意味になりますか。あとから選びなさい。(各4点)

- (1) きこのう、発表会にいらつしやいましたか。 ()
- (2) ごはんをいたきます。 ()
- (3) 先生が、まもなくいらつしやいます。 ()
- (4) とりのりの人からパンをいたきました。 ()
- (5) 今、家にはお客様がいらつしやいましたか。 ()

- ア もらう イ 聞く ウ いる エ 飲む
 オ 食べる カ 来る キ する ク 行く

4 次の表の空らんにあてはまることばをあとから選んで、表を完成させなさい。(各3点)

ことば	尊敬語	謙譲語
(1) ()	ごらんになる	(2) ()
(3) ()	(4) ()	いたす
(5) ()	(6) ()	いただく
(7) ()	おっしゃる	(8) ()

- ア 申し上げる イ めしあがる ウ 言う エ する
 オ 食べる カ なさる キ 見る ク 拝見する

5 次の各文の——線部を「 」内の指示にしたがって敬語に直しなさい。(各5点)

- (1) しばらく待ってください。 [尊敬語] ()
- (2) 先生が来る。 [尊敬の助動詞を使って] ()

語句の意味・用法(1)

名前
とく点
/100

1 次のことばの意味を、あとから選びなさい。(各4点)

- (1) 水に流す () (2) 恩にきる ()
- (3) 図にのる () (4) 気がない ()
- (5) あさはか ()

ア 考えのあさいこと イ それまでのわだかまりを捨て去る ウ ありがたく思う

エ 調子にのる オ 気のりしない カ 正気にもどる

2 次の故事成語の意味として適当と思われるものを、あとのア～カから選びなさい。(各4点)

- (1) 背水の陣 () (2) 矛盾 () (3) 杞憂 ()
- (4) 五十歩百歩 () (5) 蛇足 () (6) 四面楚歌 ()

ア とりこし苦労。 イ たいしてちがいが無い。 ウ まわりを敵にかこまれる。

エ 何度も文章を練り直す。 オ むだでよいいな物事。 カ 決死のかくごで事にあたる。

キ わざと負ける。 ク つじつまがあわない。

3 下の「」内の意味になるように、() に漢字一字を入れて四字熟語を完成させなさい。(各4点)

- (1) 他力 () () 「他人の力をかりて事にあたること。」
- (2) 適 () () 「その人にあつた仕事などをあたえること。」
- (3) () () 起 「何回失敗しても、そのたび立ち上がること。」
- (4) () () 歩 「たえず、しかも早く進歩すること。」
- (5) () () 食 「弱いものが強いもののぎせいになること。」

4 下の「」内の意味になるように、() に、体の一部を表す漢字一字のことばを書き入れなさい。

(各4点)

- (1) () () が立たない 「相手が強くて、かなわない。」
- (2) () () をすます 「よく聞こうとして、注意を集中する。」
- (3) () () があく 「仕事がかたづいてひまになる。」
- (4) () () をまく 「とても感心する。」
- (5) () () が高い 「じまんする。」

5 次の和語の意味として適切なもの一つずつ選びなさい。(各4点)

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) おびたださい | (2) とつき |
| ウ イ ア | ウ イ ア |
| たいへんさわがしい | 短い |
| たいへんいそがしい | しゅんかん |
| たいへん多い | ふるまい |
| はらだたしい | めずらしい |
| なまいきな | しびれる |
| うたがわしい | |
-
- | |
|-------------|
| (4) まれ |
| ウ イ ア |
| しゅんかん |
| めずらしい |
| しびれる |

語句の意味・用法(2)

名前
とく点
/100

1 次の意味の熟語を、あとから一つずつ選びなさい。(各4点)

- | | | | |
|---------------|-------|------|------|
| (1) さしめすこと。 | (ア 指示 | イ 指事 | ウ 支持 |
| (2) 気にかかること。 | (ア 感心 | イ 歓心 | ウ 関心 |
| (3) おくぶかいようす。 | (ア 身長 | イ 深長 | ウ 新調 |
| (4) 心にかなうこと。 | (ア 会心 | イ 改心 | ウ 回心 |

2 次のことばの意味にあてはまるものを、あとのア〜ツから三つずつ選びなさい。(各4点)

- | | | | | |
|---------|---------------------|------------|------------|---------|
| (1) 直す | (ア 合格する | イ 聞こえなくなる | ウ 終わりとする | エ さえぎる |
| (3) 消える | (ア 光が入る | カ 表面にあらわれる | キ もとのようにする | ク ほろぼす |
| (5) 結ぶ | (ア 水などをそそぐ | ケ なかまになる | コ いなくなる | サ 知れわたる |
| | (ア 弟は、人前ではいつも犬をかぶる。 | セ 修理する | ソ 見えなくなる | シ ゆわえる |
| | | ツ あらためる | タ かなう | |

3 次の各文にはまちがって使われている漢字やことばがあります。そのことばに——線を引き、意味が通るよ
うに書き直しなさい。(各5点)

- (1) 彼はいつもむだ話をして油を買っている。()
- (2) 秋になると、たくさん虫が泣く。()
- (3) 部長に変えて課長に行かせた。()
- (4) 弟は、人前ではいつも犬をかぶる。()

4 次の()にあてはまることばを、あとから選んで書き入れなさい。(各4点)

- (1) 星が()とかがやいています。
- (2) 計画が()運ぶ。
- (3) 雪が()と降っている。
- (4) むかしのことを()思う。
- (5) 赤ちゃんが()とねむっています。
- 「しみじみ すいすい すやすや きらきら しんしん」

5 次の()にあてはまる、二字の熟語を書き入れなさい。(各5点)

- (1) きょうから()一転、生まれ変わったつもりで生きる。
- (2) 彼は自分の発明を自画()した。
- (3) 鳥は、大空を自由()に飛びまわる。
- (4) 彼らは()同音に、自分たちの正しさを主張した。

MJ小5国語 確認テスト解答

①五十音図・かなづかい

- 1 え・へ は・わ (順不同)
- 2 (1)きようはとてもあつい。 (2)ひきだしのなかにひんとがある。
- 3 (1)かわづた(い) (2)じめん (3)みぢか(な) (4)おとお(り)
- 4 (1)ア・イ (2)イ・イ・ア

5 (1)日本は、とてもじしんのおおい国だとつくづく思う。

(2)ちかぢか行くというメモがこづつみの中に入っていた。

解説

「ジ・ズ」と発音するものは、原則として「じ・ず」と書くが、①二つのことばが合わさってきたことば「はなぢ」「みかづき」など、②同じ発音が重なっていることば「ちぢむ」「つづく」などは、「ぢ・づ」と書く。

②漢字の成り立ち・部首

- 1 ① 目・日・門 (順不同) ② 本・一・末 (順不同)
- ③ 多・鳴・森 (順不同) ④ 晴・花・問 (順不同)
- 2 会意文字／明・息 (順不同) 形声文字／紙・板 (順不同)
- 3 (1)まだれ (2)にくづき (3)したごころ (4)なべぶた
(5)にすい (6)うしへん (7)りっしんべん (8)えんによう
- 4 (1)社 (2)指 (3)登
- 5 (1)□ (く)にがまえ (2) (ごんべん) (3) (しんによう)
(4) (かねへん)
- 6 (1)流

③漢字の画数・筆順

- | | | | | | | | |
|-------|---|-----|-----|---|---|-----|---|
| 1 (1) | 3 | 5 | 6 | 9 | 4 | 6 | 4 |
| 2 (1) | 6 | 3 | 3 | 8 | 5 | 6 | 6 |
| 3 (1) | オ | (2) | (3) | キ | 8 | (4) | 9 |
| 4 (1) | 8 | (2) | (3) | ウ | 5 | (4) | |
| | カ | (3) | (4) | | | | |
| | 6 | (4) | (5) | | | | |
| | 4 | (5) | (6) | | | | |
| | 3 | (6) | 9 | | | | |

- 5 (1) イ (2) イ (3) イ (4) イ

解説

まちがえやすい画数の部首として、**主** (3画)、**冫** (3画)、**子** (3画)、**糸** (6画) などがある。

④辞典の使い方

- 1 (1)すばらしい…5 スタート…1 すばこ…3 すばやい…4
スパイク…2 (2)作品…3 作文…4 作家…5 作戦…2 作図…1

解説

国語辞典を引く場合、濁音や半濁音は清音のあとに、小さく書く「ゃ」「ゆ」「よ」「っ」は「や」「ゆ」「よ」「っ」のあとにある。

- 2 (1)心・8 (2)□・10 (3)女・3 (4)言・3
- 3 (1)イ (2)ア (3)イ
- 4 (1)とりこわす (2)とぼしい (3)たのむ
- 5 (1)のぞ(んだ) (2)ろうにやく (3)そうさい (4)きじよう
- 6 (1)エ (2)カ (3)ア (4)イ

⑤漢字の読み方・送りがな

- 1 (1)イ (2)エ (3)ア (4)エ (5)ウ (6)ア (7)ウ (8)イ
- 2 (1)イ (2)ウ
- 3 (1)へた (2)たなばた (3)くだもの (4)かわら (5)けさ (6)けしき
- 4 (1)ア (2)ア (3)ア (4)イ
- 5 (1)費やす (2)快く (3)整える (4)耕す

解説

動詞の送りがなのつけ方は、活用する部分(形が変化するところ)から送るのが原則だが、「費やす」「整える」など例外のものもあるので、注意して覚えよう。

- 6 (1)う (2)める (3)む (4)れる (5)しい

⑥同音・同訓異字と同音異義語

- 1 (1)ア測 イ凶 ウ計 (2)ア明 イ開 ウ空 (3)ア暑 イ厚 ウ熱
- (4)ア衛生 イ衛星 ウ永世

- 2 (1)ア芽 イ画 ウ賀 (2)ア特 イ得 ウ徳

- 3 (1)会↓合 (2)治↓収 (3)登↓上 (4)努↓務 (5)議↓義

- 4 (1)イ (2)イ (3)イ (4)ウ (5)ア

- 5 (1)ア高価 イ効果 ウ校歌 (2)ア対象 イ対照 ウ対称

- (3)ア過程 イ家庭 ウ仮定 (4)ア機械 イ器械 ウ機会

解説

この他によく使われる同音異義語として、(1)「コウカ」には「硬貨」「降下」など、(2)「タイショウ」には「大賞」「大勝」など、(3)「カテイ」には「課程」などがある。

⑦熟語の組み立て／三字熟語・四字熟語

- 1 ア⑥ イ⑦ ウ⑤ エ⑧ オ② カ③ キ④ ク⑨

- 2 (1)未 (2)然 (3)的 (4)不 (5)無 (6)非 (7)性 (8)化

解説

「非」「非力」「非常識」などと、「不」「不安定」「不法」などは、いずれも下の字の意味を打ち消す語であるが、下の字によってどちらがつくかは決まっている。一つの語として覚えるようにしましょう。

- 3 (1)公 (2)減 (3)他 (4)暗 (5)遠 (6)強

- 4 (1)中 (2)考 (3)敗 (4)極

- 5 (1)感謝十状 (2)春十夏十秋十冬 (3)前代十未聞 (4)南十太平洋

- 6 完全無欠・自由自在・一部始終・交通整理・地方自治・世界平和(順不同)

⑧類義語・対義語

- 1 (1)エ (2)エ (3)イ (4)ウ

- 2 (1)自然(天然) (2)和式 (3)下校 (4)平和 (5)解散

- 3 (1)キ (2)ア (3)イ (4)エ (5)コ (6)オ (7)ク (8)カ

- 4 (1)ア・エ (2)ア・イ (3)ア・エ (4)イ・ウ

解説

(4)「風光」は「自然の美しいながめ」という意味なので、「景観」の類義語である。

- 5 (1)イ (2)ウ (3)エ (4)イ

- 6 (1)ウ (2)サ (3)ケ (4)ア (5)イ (6)エ (7)コ (8)オ

⑨ことわざ・慣用句

- 1 (1)犬 (2)すっぽん (3)ねこ (4)すずめ

解説

(1)は「でしゃばると災難にあう」という意味であったが、現在では、「何かをしているうちに思いがけない幸運がある」という、反対の意味で使われている。

- 2 (1)七十五(七五) (2)一・十(一〇) (3)三 (4)二・一

- 3 (1)ウ (2)エ (3)ア (4)イ (5)オ (6)ク (7)キ (8)カ

- 4 (1)頭 (2)首 (3)顔 (4)足

⑩文・文節・単語

- 1 (1)ウ (2)イ (3)ウ

- 2 (1)ウ (2)イ (3)ア

- 3 (1)丘の上(一)に、一サルビアの(一)花が(一)さいて(一)いる。

- (2)門の前(一)で(一)犬が(一)ほえて(一)います。

- (3)父(一)さんに、一マンガ本(一)を(一)買って(一)もらった。

- (4)妹(一)を一連(一)れて、一商店(一)へ(一)買い物(一)に(一)行く。

- (5)日(一)が(一)かげると、一風(一)が(一)出(一)て(一)き(一)て、一雨(一)が(一)ふ(一)り(一)出(一)した。

解説

(5)「出てくる」は「出る」と「くる」に分けることができるが、「ふり出す」は二つの動詞が組み合わさってきた動詞なので、一語の動詞となる。

- 4 (1)きみ(一)は(一)外国(一)へ(一)行(一)っ(一)た(一)こと(一)が(一)あ(一)る(一)か。

- (2) 明日の一の一朝一は早く一起き一て一遠足一に一出かける。
 (3) 母一が一作る一料理一は一みんな一おいしい。
 (4) こつちの一の一部屋一の一ほう一が一ししずかだ。
 (5) さわやかな一風一が、一秋一が一近い一こと一を一告げ一て一いる。

⑪ 主語・述語・修飾語

- 1 (1) 主語ウ 述語オ (2) 主語イ 述語エ (3) 主語ウ 述語オ
 (4) 主語オ 述語カ
 2 (1) イ (2) ウ (3) ウ (4) ウ
 3 (1) ウ (2) イ・ウ (3) ウ・エ (4) カ

解説

(1) ア「これは」、(2) ア「子どもたちは」、(3) ア「ぼくは」、(4) オ「月が」はそれぞれ「修飾語」ではなく「主語」である。

- 4 (1) ウ (2) ア (3) ア (4) ウ (5) イ
 5 A 一人の B けわしい C 山道を D 頂上へと E 少年が F 登った

⑫ 単語の種類／名詞・代名詞

- 1 (1) エ (2) イ (3) ア (4) イ

解説

(2) ア・ウ・エはものごとの性質やようすなどを表す「形容動詞」であるが、イ「学校だ」は「学校(名詞)」＋「だ(断定の助詞)」である。形容動詞は「な十名詞」「安全な学校」などの形をとることができる。

- 2 (1) エ (2) キ (3) イ (4) ウ
 3 (1) ア (2) イ (3) ア (4) エ (5) ウ (6) エ (7) イ (8) ア
 4 (1) エ (2) ウ (3) エ (4) ウ
 5 (1) ①悲しみ ②悲しさ (2) ①明るさ ②明るみ

⑬ 動詞・形容詞・形容動詞

- 1 (1) ①美しく ②美しけれ ③美しいかる (2) ①読め ②読ま ③読み

- 2 (1) 静かだ (2) 清らかだ (3) さわやかだ (4) まっさおだ
 3 (1) くる (2) 住む (3) 働く (4) 使う
 4 (1) ウ (2) イ

解説

(1) ア・イの「ない」は「来ぬ」「書けぬ」というように「ぬ」で置きかえることができるので、打ち消しの助動詞であるが、ウの「ない」は「寒くない」という形容詞の一部である。

- 5 (1) (覚) める・ます (2) (消) える・す (3) (散) る・らす
 (4) (折) れる・る
 6 (1) ⊕ (2) ⊕ (3) ⊕ (4) ⊕

⑭ 副詞／擬声語・擬態語

- 1 (1) ウ (2) エ (3) ア (4) キ (5) カ (6) ク (7) オ
 2 (1) ような (2) まい (3) ください (4) たら

解説

(2) 「よもや」は打ち消し推量の副詞で、「くだらう」「くまい」と呼応する。「よもや負けることはないだろう」と言いかえることができる。

- 3 (1) エ (2) コ (3) ウ (4) ア (5) ケ (6) キ (7) ク (8) カ
 4 (1) くるくる (ぐるぐる) (2) ぴかぴか
 5 (1) イ (2) コ (3) ク (4) ア (5) キ (6) エ (7) オ (8) ケ

⑮ 助詞・助動詞

- 1 (1) イ (2) ア (3) イ (4) ウ

解説

(3) イの「そうだ」は伝聞、他は推定の助動詞である。「暑くなりそうだ」であれば推定の意味になる。

- 2 (1) イ (2) ア (3) ウ (4) イ (5) ア
 3 (1) ウ (2) ア (3) イ (4) エ
 4 (1) エ (2) ア (3) イ (4) ウ (5) オ

- 5 (1)ウ (2)ア

⑩接続語・指示語

- 1 (1)イ (2)ア (3)ウ (4)エ (5)カ
2 (1)それから・ウ (2)だけど・イ (3)つまり・エ (4)または・カ
(5)だから・ア

3 ①〔例〕こん虫やクモなどが、さわられると死んだまねをすること。

②〔例〕死んだまねをして(動かないで)いるこん虫やクモ。

③〔例〕じょうぶなまき貝(の家)。

④〔例〕細いえだや葉をかみ切って作ったミノ。

解説

指示語が何を指しているかを考えるときは、特に直前の一文に着目する。答えが合っているかを確かめるには、指示語の部分に答えを当てはめてみて意味がとおればよい。

4 〔例〕東京はとてもすずしい。しかし(けれども)だが・ところが、福岡はまだ暑いらしい。

⑪敬語

1 (1)おっしゃった(言われた) (2)めしあがって(おめしあがり・お食べになつて) (3)〇 (4)なさった(なされた)

2 (1)ウ (2)イ (3)ウ (4)ウ (5)ア (6)ア

3 (1)ク (2)オ (3)カ (4)ア (5)ウ

4 (1)キ (2)ク (3)エ (4)カ (5)オ (6)イ (7)ウ (8)ア

5 (1)お待ち(になつて) (2)来られる

解説

(2)「尊敬の助動詞を使って」という指示があるので、正解は助動詞「れる・られる」を使った尊敬表現の「来られる」となる。「いらっしゃる」は尊敬表現としては正しいが、ここでは不適当。

⑫語句の意味・用法(1)

1 (1)イ (2)ウ (3)エ (4)オ (5)ア

2 (1)カ (2)ク (3)ア (4)イ (5)オ (6)ウ

3 (1)(他力)本願 (2)(適)材(適)所 (3)七(転)八(起)

(4)日(進)月(歩) (5)弱(肉)強(食)

解説

(3)これ以外に「七」と「八」が付く四字熟語には「七転八倒」がある。

4 (1)歯 (2)耳 (3)手 (4)舌 (5)鼻

5 (1)ウ (2)ウ (3)ア (4)イ

⑬語句の意味・用法(2)

1 (1)ア (2)ウ (3)イ (4)ア

2 (1)キ・セ・ツ(順不同) (2)ア・サ・タ(順不同) (3)イ・コ・ソ(順不同)

(4)エ・ク・チ(順不同) (5)ウ・シ・ス(順不同) (6)オ・カ・ケ(順不同)

3 (1)買(つて)↓売(つて) (2)泣(く)↓鳴(く) (3)変(えて)↓代(えて)

(4)犬↓ねこ

解説

(3)「かえる」は「変える」「代える」「換える」「替える」などの漢字がよく用いられ、使い分けが難しい。この文では「代理」「交代」の意味で使われているので「代えて」が適当。

4 (1)きらきら (2)すすいすい (3)しんしん (4)しみじみ (5)すやすや

5 (1)心機 (2)自賛 (3)自在 (4)異口

⑭文章中の符号・原稿用紙の使い方

1 (1)イ (2)ウ (3)ウ

2 (1)あんなにがんばったのに、成績は最下位だった。

(2)用事が終わったら、すぐに家に帰るつもりだ。

(3)兄は、父からもらったコンピューターを使っている。

3 ぼくと妹は、父と外出する約束をしていました。午後になると、風と雨が強

